

基本的な考え方

伊佐のみんなで時間を共有し、にぎわいがひろがる複合拠点

新庁舎建設基本計画の内容を深く理解し、新庁舎とふれあいセンターの複合化により、ひと・もの・まちがつながり、にぎわいがひろがる複合拠点を市民の皆様とともに実現します。

3つの設計コンセプト



業務に対する取り組み体制、設計チームの特徴

組織事務所と地元事務所による万全の体制

- 設計チームは庁舎の新築・改修・用途変更の設計監理実績を有するメンバーで構成し、業務完了まで提案先行型の一貫した総合マネジメント体制で取り組みます。
- 全社ネットワークを活用した最新事例の照会や計画レビューなど、安心のバックアップ体制を構築します。
- 九州を拠点とした設計チーム(組織事務所+伊佐市内の設計実績を有する地元事務所)は、迅速かつきめ細やかな設計対応が可能な体制で業務を推進します。
- 住民説明会や検討委員会、議会に合わせてプレゼン資料準備等のバックアップを確実にいきます。

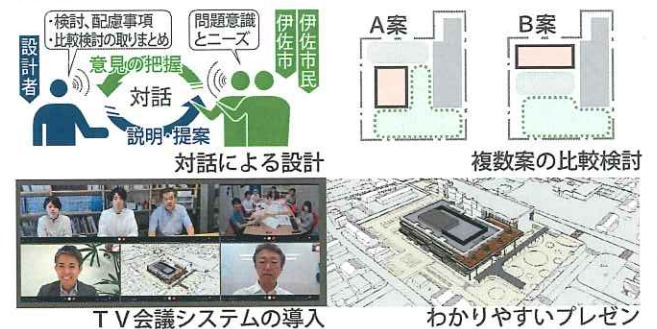


業務の取組体制・設計チーム

特に重視する設計上の配慮事項

市民・職員との『対話による設計』の重視

- ワークショップや丁寧なヒアリングなど、関係者のみなさまとの『対話による設計』を積み重ねることで目標を共有し、『共に考え、共につくる』姿勢で取り組みます。
- 基本設計時の協議を特に重視し、わかりやすさや働きやすさを踏まえた複数案の比較検討を繰り返し行います。
- 3次元モデルや動画を用いたプレゼン、緊急時にはTV会議システムを導入するなど業務を円滑に推進します。



設計工程

新しい伊佐の複合拠点を創るロードマップ - 6段階のワークショップ -

各設計段階に応じたワークショップとコストチェックを複数回行い、確実な設計を遂行します。

年月日	2020年度												2021年度												2022年度			2023年度											
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
マスタースケジュール	基本設計(9ヶ月) 調査 配置・平面計画 仕様 納品 基本設計を重要視 改修計画 構造計画												実施設計(10ヶ月) 作図 積算 確認申請 納品												発注準備			建設・改修工事											
コストチェック	1 概算												2 概算												3 積算			4 調整											
議会	● 基本設計												● 実施設計												● 工事														
市民合同ワークショップ	1 ↓ プロポーザル案の説明												2 ↓ 複数回実施することで、市民の想いを引出し、設計にフィードバック												3 ↓ パブリックコメント			4 ↓ パブリックコメント			5 ↓ 工事の各段階にて市民や学生に向けた現場見学会を開催			6 ↓ 植樹や内装的部分的なものづくりWSを開催					
職員ワークショップ	1 計画案説明会												2 市民WS												3 まち歩き			4 製作家具WS			5 現場見学会			6 ものづくりWS			竣工後 継続した市民活動		

新庁舎建設のロードマップ